

(2) 社会

ア 個々の問題の概要及びその通過率

— 評価の観点 —

思・判・表：社会的な思考・判断・表現

技能：資料活用 of 技能

知・理：社会的な事象についての知識・理解

(◇：「活用」に関する問題)

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	活用	評価の観点	設定通過率 (%)	通過率 (%)
地(1)ア	1	(1) 赤道(緯度0度)を世界地図上に表すことができ、かつ主な国の名称と位置を理解している。		技能 知・理	45.0	55.1
地(1)ア		(2) 六大陸の名称と位置を、世界地図上で理解している。		知・理	65.0	82.0
地(1)イ		(3) イスラム教の分布と特色について理解している。		知・理	65.0	75.8
地(1)イ		(4) 熱帯のくらしの特色について理解し、熱帯の雨温図を選択できる。	◇	技能 思・判・表	50.0	75.9
地(2)ア		(5) 経度差をもとに時差をとらえ、ニューヨークの日時を計算できる。		知・理 技能	40.0	35.9
地(1)ア	2	(1) 地図から、オセアニア州を指摘できる。		知・理	70.0	77.0
地(1)ウ		(2) アマゾン川流域の環境問題について理解している。		知・理	65.0	71.8
地(1)ウ		(3) 資料からEUを指摘することができる。		知・理	65.0	63.4
地(1)ウ		(4) アフリカのモノカルチャー経済の特色を示す資料を選択できる。	◇	思・判・表 技能	60.0	50.4
地(1)ウ		(5) 北半球と南半球の季節が逆であることを説明できる。	◇	思・判・表 知・理	45.0	51.2
地(1)ウ		(6) 資料からの情報を多角的に読み取り、アメリカ合衆国を指摘できる。		技能 知・理	45.0	46.5
地(1)ウ		(7) 旅行計画にしたがって、訪れた順に地図を並べ替えることができる。	◇	思・判・表 知・理	45.0	69.2
地(1)エ	3	(1) 米の生産量を示すグラフから適切な主題図を判断できる。	◇	思・判・表 技能	45.0	62.0
地(1)エ		(2) 3種類のグラフを適切に選択し、併せて読み取ることができる。	◇	思・判・表 技能	40.0	43.8
地(2)ア	4	(1) 資料から、関東地方を指摘できる。		技能 知・理	55.0	74.1
地(2)ア		(2) 資料から、県名と県庁所在地名を指摘できる。		技能 知・理	60.0	62.6
歴(1)ア	5	(1) 時代区分について理解している。		知・理	65.0	36.7
歴(1)ウ		(2) 古代、中世について、各時代の特色を理解している。		知・理	65.0	62.9
歴(1)ウ		(3) 古代、中世について、主な出来事を理解している。		思・判・表 知・理	65.0	58.5
歴(3)イ		(4) 資料の建築物が室町(戦国)時代の代表的な建築物であることを理解している。		知・理 技能	65.0	69.6
歴(2)ア	6	(1) 資料から、縄文時代の遺跡の名称を理解している。		知・理 技能	60.0	60.7
歴(2)ア		(2) 資料から、卑弥呼であることを指摘できる。		技能 知・理	70.0	94.0
歴(2)イ	7	(1) 資料から、聖徳太子が目指した政治を指摘できる。		技能 知・理	75.0	82.8
歴(2)イ		(2) 資料から、墾田永年私財法であることを読み取り、名称を指摘できる。		技能 知・理	60.0	72.4
歴(2)イ		(3) 平安時代の政治の移り変わりを指摘できる。	◇	思・判・表 知・理	45.0	51.9
歴(2)ウ		(4) 平安時代の文化の特色を指摘できる。		知・理	65.0	59.4
歴(3)ア	8	(1) 鎌倉時代の将軍と御家人の関係を理解し、御家人を指摘できる。		知・理	50.0	92.5
歴(3)ア		(2) 六波羅探題の役割を指摘できる。		知・理	55.0	78.0
歴(3)ア	9	(1) 資料から、勘合貿易の背景を説明できる。		思・判・表 知・理	40.0	58.5
歴(3)ア		(2) 資料から、応仁の乱を指摘できる。		知・理 技能	60.0	44.3
歴(4)ア		(3) 資料から、分国法を指摘できる。		知・理 技能	40.0	28.4

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	設定 通過率	東 青 管 内			西 北 管 内				
				青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡	
1	(1)	赤道を通る国の理解	45.0	57.7	57.5	60.2	52.5	52.0	45.7	56.9
	(2)	六大陸の位置と名称の理解	65.0	85.0	85.3	81.3	79.3	81.4	68.5	82.9
	(3)	イスラム教の分布と特色の理解	65.0	77.1	77.5	71.3	75.8	77.9	76.8	73.1
	(4)	熱帯の暮らしと特色の指摘	50.0	78.8	79.0	74.3	77.1	76.6	75.4	78.7
	(5)	日本とニューヨークの時差の理解	40.0	41.7	41.8	39.8	44.3	43.4	32.9	51.5
2	(1)	オセアニア州の地図の指摘	70.0	80.1	80.2	79.5	73.1	72.2	70.2	75.6
	(2)	アマゾン川流域の環境問題の理解	65.0	75.9	76.4	69.0	67.8	66.9	63.3	71.2
	(3)	EUの指摘	65.0	67.7	68.0	63.7	53.9	58.6	52.9	49.2
	(4)	モノカルチャー経済を表す資料の指摘	60.0	52.0	52.1	50.9	48.3	49.2	45.7	48.8
	(5)	北半球と南半球の季節の違いの説明	45.0	55.5	55.5	55.6	49.9	48.5	50.5	51.0
	(6)	各国の産業に関する資料の読み取り	45.0	47.9	48.1	45.6	48.6	45.5	47.1	52.9
	(7)	資料をもとに地図の順の指摘	45.0	73.2	73.6	68.4	68.7	68.7	62.6	72.1
3	(1)	米の生産量を示すグラフの指摘	45.0	66.4	66.2	69.6	61.0	59.8	52.2	67.1
	(2)	複数の資料の読み取り	40.0	46.3	47.0	35.7	44.5	48.0	42.9	41.7
4	(1)	日本の八地方区分の理解	55.0	77.8	77.9	75.4	75.1	73.5	73.7	77.7
	(2)	東北地方の県名・県庁所在地名の理解	60.0	63.9	64.7	52.0	65.7	65.8	59.2	69.2
5	(1)	時代区分の理解	65.0	37.9	37.6	42.7	40.3	34.2	21.1	57.7
	(2)	古代・中世の社会の理解	65.0	66.8	67.3	59.1	61.4	62.1	58.5	62.1
	(3)	古代・中世の主な出来事の理解	65.0	64.7	64.3	70.2	56.4	56.3	50.9	59.6
	(4)	室町（戦国）時代の文化の理解	65.0	71.2	71.0	75.4	66.9	62.8	61.6	74.2
6	(1)	縄文時代の遺跡の指摘	60.0	65.4	66.0	55.6	60.5	58.9	51.9	66.9
	(2)	卑弥呼の理解	70.0	94.5	94.4	94.7	94.8	93.8	94.8	96.0
7	(1)	聖徳太子の目指した政治の理解	75.0	85.7	86.0	80.1	83.6	81.9	77.9	88.7
	(2)	資料をもとに墾田永年私財法の指摘	60.0	75.8	76.8	60.8	67.2	68.7	64.4	67.1
	(3)	平安時代の政治の流れの指摘	45.0	55.5	55.8	51.5	45.0	41.2	45.3	48.8
	(4)	平安時代の文化の特色の指摘	65.0	59.3	59.3	59.1	58.7	58.1	51.9	63.3
8	(1)	封建制度と御家人の理解	50.0	93.0	93.5	85.4	92.4	91.9	90.3	94.0
	(2)	六波羅探題の役割の指摘	55.0	77.9	78.1	75.4	74.8	74.0	75.8	75.2
9	(1)	勘合貿易の背景の説明	40.0	65.6	66.0	59.1	52.2	52.4	58.8	48.3
	(2)	資料をもとに応仁の乱の指摘	60.0	44.1	44.3	41.5	50.6	50.4	51.6	50.2
	(3)	分国法の理解	40.0	32.3	32.1	35.7	20.6	19.5	27.3	18.1
教 科 全 体			56.1	65.7	65.9	62.5	61.6	61.1	58.1	64.2

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内			三 八 管 内		県全体		
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
51.3	52.5	54.8	42.9	50.5	59.2	70.4	52.1	53.7	53.0	54.4	48.2	54.6	54.4	55.3	55.1
69.7	66.4	78.4	71.6	74.7	84.4	88.5	85.3	80.7	90.6	89.9	92.9	86.7	84.7	93.9	82.0
73.5	75.1	67.1	69.3	77.3	75.1	77.4	75.2	73.2	74.4	74.2	75.0	77.4	78.3	74.2	75.8
71.6	70.3	72.6	77.2	70.7	75.5	81.9	71.0	72.5	65.4	67.2	59.5	79.0	79.4	77.6	75.9
33.2	33.1	36.1	34.7	28.2	32.6	36.9	28.5	31.0	29.4	34.1	14.3	32.1	31.6	34.1	35.9
74.7	73.8	81.6	67.0	80.2	75.8	79.3	75.4	73.3	67.9	69.2	63.7	81.0	80.8	81.8	77.0
67.5	66.4	70.6	68.3	68.5	71.5	75.5	74.0	67.3	65.1	66.2	61.3	75.1	75.7	72.8	71.8
58.4	58.8	64.5	51.8	56.8	63.1	73.3	62.9	55.3	58.2	62.5	44.0	69.6	69.3	70.4	63.4
44.0	44.8	43.2	39.9	45.4	52.6	60.6	46.7	49.0	47.9	49.6	42.3	54.0	53.7	55.1	50.4
43.3	40.2	53.9	43.2	46.5	50.7	53.6	52.6	47.4	42.1	44.5	34.5	56.8	57.1	56.0	51.2
43.3	43.1	46.5	43.6	40.7	44.4	47.8	45.0	41.4	43.9	45.2	39.9	48.7	48.4	49.5	46.5
63.8	64.4	62.9	58.7	67.0	69.0	74.5	66.6	65.8	64.2	66.2	57.7	71.4	71.5	70.9	69.2
55.9	56.4	54.5	50.5	60.4	60.5	65.0	57.0	58.6	56.1	57.7	50.6	65.8	66.0	65.1	62.0
42.6	43.6	40.0	40.9	42.1	43.5	44.8	44.7	41.8	36.5	37.6	32.7	43.8	43.5	44.9	43.8
71.6	72.6	73.2	62.0	75.5	70.5	69.7	65.4	73.7	69.2	73.2	56.0	75.6	75.7	75.3	74.1
55.5	55.6	59.7	47.9	58.6	58.7	56.4	56.0	62.1	60.3	63.5	50.0	68.9	69.2	67.7	62.6
32.9	33.8	38.7	32.0	23.1	36.2	36.4	32.2	38.0	31.5	34.3	22.6	38.1	39.2	34.1	36.7
56.0	55.5	57.7	59.7	52.0	60.2	67.6	55.3	56.6	61.8	65.1	51.2	67.6	67.7	67.1	62.9
51.1	51.1	56.5	46.5	50.5	56.5	62.2	52.3	54.0	54.8	57.0	47.6	61.9	62.0	61.6	58.5
63.1	60.9	66.5	68.3	64.5	68.8	74.3	63.4	67.0	70.8	73.4	62.5	75.0	74.0	78.5	69.6
60.4	61.0	72.6	49.8	55.3	57.9	63.3	65.6	50.2	63.0	62.9	63.1	57.9	56.5	62.9	60.7
92.4	91.9	93.9	92.7	93.0	93.1	94.0	91.6	93.2	93.0	93.9	89.9	95.4	95.8	94.0	94.0
76.6	76.7	72.3	79.9	77.7	83.6	85.7	81.6	82.8	81.5	83.9	73.8	84.5	85.3	81.8	82.8
67.3	68.2	69.0	60.7	68.1	68.4	72.7	62.9	67.6	75.1	78.8	63.1	77.8	78.6	74.8	72.4
47.0	48.6	43.5	43.9	46.5	52.3	53.2	54.5	50.5	53.7	54.2	51.8	54.9	55.2	53.8	51.9
53.7	53.3	55.2	54.1	53.1	59.5	60.5	57.7	59.6	61.4	62.7	57.1	64.0	64.3	62.7	59.4
90.3	89.7	89.7	93.7	90.5	92.4	92.7	90.7	92.9	92.5	93.5	89.3	93.8	93.9	93.2	92.5
71.2	71.1	67.7	74.9	71.1	79.5	84.4	78.6	76.2	80.8	83.2	73.2	83.3	83.6	82.3	78.0
51.1	47.3	65.2	53.1	52.0	56.2	67.5	41.0	54.4	50.8	54.4	39.3	64.4	65.0	62.3	58.5
38.5	36.2	47.7	38.6	39.9	42.2	46.6	43.0	38.4	40.4	41.5	36.9	48.4	49.1	46.0	44.3
22.6	19.5	37.4	17.8	26.7	24.4	27.8	17.2	25.0	31.4	38.4	8.9	35.0	35.4	33.6	28.4
57.9	57.6	61.1	56.0	58.3	61.9	66.0	59.5	59.8	60.2	62.3	53.3	65.9	66.0	65.6	62.8

ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題 (10問)	通過率の低かった 問題 (10問)	各内容・領域 の通過率(%)	設定通過率 (%)
世界の様々な地域	13	1(2)、1(3)、 1(4)、2(1)	1(1)、2(4)、 2(5)、2(6)、 3(2)	63.4	54.2
日本の様々な地域	3	4(1)	1(5)	57.5	51.7
歴史のとらえ方	4		5(1)	54.8	63.8
古代までの日本	6	6(2)、7(1)、 7(2)	7(3)	70.2	62.5
中世の日本	5	8(1)、8(2)	9(2)	68.6	54.0
近世の日本	1		9(3)	28.4	40.0

エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題 (10問)	通過率の低かった 問題 (10問)	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
社会的な思考・ 判断・表現	9	1(4)	2(4)、2(5)、 3(2)、7(3)	57.9	48.3
資料活用の技能	16	1(4)、4(1)、 6(2)、7(1)、 7(2)	1(1)、1(5)、 2(4)、2(6)、 3(2)、9(2)、 9(3)	59.9	54.4
社会的事象につ いての知識・理 解	27	1(2)、1(3)、 2(1)、4(1)、 6(2)、7(1)、 7(2)、8(1)、 8(2)	1(1)、1(5)、 2(5)、2(6)、 5(1)、7(3)、 9(2)、9(3)	63.5	57.2

オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	設定通過率 (%)	主な誤答(無答を含む)例 (かっこ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)
1(5)	35.9	40.0	無答(13.5)、日付が1日ずれた誤答(5.5)、 経度の差を135-75で計算した誤答(5.5)
2(6)	46.5	45.0	ア(27.0)、ウ(13.0)、エ(11.0)
3(2)	43.8	40.0	イ(32.5)、エ(11.5)、ア(11.0)
5(1)	36.7	65.0	古世(24.0)、無答(16.0)、前世(6.0)
9(2)	44.3	60.0	ウ(33.5)、ア(15.0)、エ(4.0)
9(3)	28.4	40.0	無答(36.5)、武家諸法度(15.5)

- 誤答の原因として、9(3)では、無答が多かったことから、時代を特色付けるような事象の理解が不十分なことが考えられる。また、9(2)・(3)のように室町時代から戦国時代の問題の通過率が他の時代と比べると低いことから、同様のことが考えられる。

- 誤答の原因として、①(5)では、無答が多かったことから、時差を導く基本的な知識・技能の定着が不十分であることが考えられる。
- 誤答の原因として、②(6)、③(2)では、正答以外を選択した解答が多かったことから、地域を特色付ける地理的事象の理解と複数の資料を読み取る技能の定着が不十分であることが考えられる。
- 誤答の原因として、⑤(1)では、無答及び時代区分の名称ではない解答が多かったことから、歴史の流れの大きな捉えが不十分であることが考えられる。

カ 今後の指導について

内容・領域別にみた課題としては、「近世の日本」、「歴史のとらえ方」の学習内容の定着が挙げられる。

今後の指導においては、時代の区分や移り変わりに気付かせたり、歴史の大きな流れを捉えさせたりするために、歴史学習の導入で小学校での既習事項を生かした調べ学習や年表づくりなどの学習を取り入れることが考えられる。

また、各単元のまとめとして、その時代を表すキャッチフレーズを考えることによって、時代を大きく捉えさせたり、各時代間の同異を確認するような学習に取り組むことも考えられる。

指導例

時代を大きく捉えさせる指導 ～単元名「中世を振り返ろう」～

【指導の流れ】

1 学習問題を設定させる。

中世とはどんな時代か。『○○な時代、中世』というキャッチフレーズを作ろう。

ポイント 時間軸と空間軸をもとに習得した知識を整理し、歴史的意義から関連付け、再構成する。



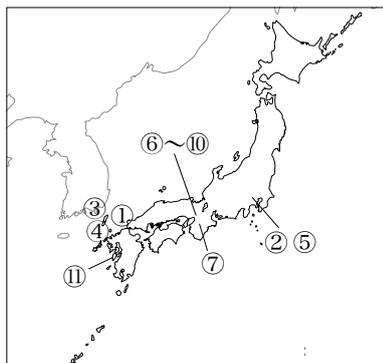
この単元で出てきたキーワードについて、項目別に年表にまとめて、主なできごとが起こった場所(①～⑩)を地図に記入してみましょう。また、そこから気付いたことを書いてみましょう。

2 年表を完成させる。

西暦	主なできごと		東アジアとの関係	政治	経済・社会	文化
1185年	平氏が滅びる	①	宋・高麗			
〃	源頼朝が守護・地頭を設置		↓	御恩と奉公		
1192	源頼朝が征夷大将軍になる	②		執権政治		
1221	承久の乱		↓	六波羅探題	二毛作始まる	
1232	御成敗式目(北条泰時)		元		定期市	鎌倉文化
1274	文永の役	③	元寇			鎌倉仏教
1281	弘安の役	④	元寇	永仁の徳政令		
1333	鎌倉幕府が滅びる	⑤				
〃	建武の新政(後醍醐天皇)	⑥				
1336	南北朝の対立	⑦	↓	南北朝時代	座	

1338	足利尊氏が征夷大将軍になる	⑧	倭寇	↓ 明 ↓ 朝鮮国	管領 守護大名	二毛作広がる	
1378	足利義満が幕府を室町に移す	⑨					惣
1392	南北朝が統一	⑩	日朝貿易			土一揆	金閣
1404	日明貿易（勘合貿易）開始	⑪	日明貿易			一向一揆	東山文化
1467~77	応仁の乱 以後、戦国時代へ		琉球王国や アイヌ民族との交易		戦国大名	下剋上 城下町・分国法	銀閣 書院造

3 主なできごとを地図に記入させる。



4 年表と地図から気付いたことを発表させる。



政治の中心は鎌倉から京都（一時期、奈良県の吉野も）へ変わりました。

中国、朝鮮の変化が、戦乱や貿易など日本の歴史にも大きな影響を与えている。



ポイント 生徒自身が表現することによって、歴史全体の中で大まかに捉えさせる。



グループで年表中の4項目を分担して特色を書き、それをみんなで出し合ってみましょう。

5 グループで、年表の4つの項目について分担し、特色を記入させる。

- ・ Aくん…東アジアとの関係「中国、朝鮮、琉球王国など東アジアとの交流が盛んな時代」
- ・ Bくん…政治「武士による支配が全国に広まった時代」
- ・ Cくん…経済・社会「産業の発達により民衆に活気が見られ、団結が強まった時代」
- ・ Dさん…文化「武士や民衆の成長を背景に、現代につながる文化が栄えた時代」

6 グループで項目ごとの特色を出し合わせる。

7 単元の学習問題（またはテーマ）について、各自でまとめさせる。



外国との交流が盛んな活気ある時代、中世

武士による政治、武士文化の時代、中世



ポイント

整理、再構成した知識を活用したグループによる表現活動を設定することにより、思考力・判断力・表現力等の向上をねらう。その際、学習した内容の比較や、関連付け、総合などを通して、他の時代（ここでは古代）との共通点や相違点に着目しながら、時代の特色を大きく捉え、言葉や図などで表したり、意見交換したりする学習活動を行う。活用場面の後に、さらなる習得の場面を設定すると効果的である。

（例：他の生徒の発表、教師の補説、教科書本文に戻る、ゲストティーチャーの話など）



「活用」に関する問題についての課題として、複数の資料から指摘できることをそれぞれ整理し、組み合わせて表現する力や、既習事項や身に付けた社会的な見方・考え方を活用して別な社会的事象を分析する力の向上などが挙げられる。

今後の指導においては、次の指導例のように、資料から読み取ったことを文章化させたり、複数の資料を併せて読み取らせ、まとめて表現する学習活動や、逆に自分の予想を根拠付ける資料等を探す学習活動などが考えられる。

指導例

資料から読み取ったことを根拠に表現する力を高める指導 ～単元名「世界の諸地域の振り返り」～

1 「世界の諸地域」振り返りワークショップ（1）

【指導の流れ】

①資料を提示する。

前回の東京オリンピックから、2020年までの開催年、国・州の一覧、その主題図（世界地図・略）の資料を提示する。

資料「オリンピックの開催年、都市、国、州」

年	都市	国	州
1964	東京	日本	アジア
1968	メキシコシティ	メキシコ	北アメリカ

②学習問題を設定させる。

今回のオリンピック開催の州はどこがよいでしょうか？文化や経済・産業などに視点を当てて理由を付けて推薦しよう。

略

2008	北京	中国	アジア
2012	ロンドン	イギリス	ヨーロッパ
2016	リオデジャネイロ	ブラジル	南アメリカ
2020	東京	日本 	アジア
2024	？	？	？

③個人の考えをまとめさせる。

個人で、推薦したい州を決め、理由を考えさせる。（ワークシートに記入）

④情報交換をさせる。

推薦したい州が同じ人同士でグループをつくり、理由について情報交換させる。

ポイント1

情報交換することで、習得した知識の活用になり、習得が強化される。

⑤グループで調査・作業をさせる。

推薦する視点である文化、経済・産業に関わる統計資料、地図、既習事項などを根拠として、地域的特色を踏まえた推薦理由のプレゼンテーションをするため、グループで調査・作業をさせる。時間が足りなくなることが予想されるので、次時までの課題とする。統計資料等は2つ以上活用するという条件を設定する。

ポイント2

資料活用能力、思考力・判断力・表現力等の育成を図る意図と、2つ以上の資料を併せ読む力を育てる意図がある。

2 「世界の諸地域」振り返りワークショップ（2）

①プレゼンテーションをさせる。

【例】 アフリカ州を推薦したグループの推薦理由と資料

五輪は世界の五大陸の象徴なのに、今までアフリカ州でオリンピックが開催されたことがありません。それは開発や経済成長が進んでいないことに原因があったと思います。しかし、①近年モノカルチャー経済から脱却しつつある国、②経済成長の著しい国もアフリカに多いことがわかりました。また、③希少金属であるレアメタルや原油を産出・輸出して利益を上げている国もあります。④南アフリカ共和国ではかつてワールドカップサッカーが開かれたこともあり、オリンピックの開催も可能だと思います。アフリカ南端に喜望峰という岬がありますが、⑤人類発祥の地アフリカで開催することが世界の、そして、人類の「希望」になるだろう、と考えます。



地図帳やインターネットなどで調べました。



活用する資料

- ・『ガーナとナイジェリアの輸出品目の変化』【グラフ】
- ・『世界で最も成長率の高い10国』【統計表】
- ・『アフリカの鉱産資源』【分布図】
- ・『サッカー・ワールドカップ南アフリカ大会』【新聞記事】
- ・『人類の出現と広がり』【主題図】

②まとめを書かせる。

各グループのプレゼンテーションを聞き、質疑応答を経て、最終的には個々で、自己決定させ、推薦理由を書かせる。その後、発表させ、ワークシートを回収する。

③振り返りをさせる。

教師は、一連の活動・発表を評価する。生徒には感想を書かせ、振り返りをさせる。

④次の単元の見通しをもたせる。

次の時間からの「世界のさまざまな地域の調査」では、自己決定した州の中から、オリンピックを開催させたい国を選び、さまざまな観点から調査する学習をする。

ワークショップ型授業では振り返りが大切です。



キ まとめ

内容・領域についての学習状況は、「世界の様々な地域」、「古代までの日本」、「中世の日本」において、おおむね良好である。しかし、「歴史のとらえ方」においては、時代区分について、また、「中世の日本」、「近世の日本」においては、室町時代から戦国時代の政治の流れについての基礎的・基本的事項の定着が十分とは言えない。

今後は、「歴史のとらえ方」においては、時代の区分や移り変わりに着目させながら、大きく時代を捉えさせる授業を行うようにしたい。また、「中世の日本」、「近世の日本」においては、基礎的・基本的事項の定着を図り、歴史の流れという縦軸と同時代の関連という横軸を意識した授業を行うようにしたい。

評価の観点からみた状況は、全体的におおむね良好である。しかし、資料の読み取りや読み取った事項を活用して説明する力において、不十分な点が認められる。このことは、「活用」に関する問題においても、同様に求められる能力である。

今後は、複数の資料等を活用した調べ学習や既習事項を活用し、予想を立て、根拠をもって考えさせる授業を行うようにしたい。